

町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事務候補者 採点集計表（第一次審査）

評価項目	評価の視点	配点 (加点点)	事業者 A					事業者 B							
			各委員・事務局の採点					備考	各委員・事務局の採点					備考	
			委員 I	委員 II	委員 III	委員 IV	委員 V		委員 I	委員 II	委員 III	委員 IV	委員 V		
会社概要 (10点)	事業者が地方公共団体等から委託を受けて、類似事業を実施した経験や実績があるか	様式 4	10 (×2)	2	2	2	2	2	町会・自治会を活性化させた実績が 5 件ある 5 点 町会・自治会を活性化させた実績が 4 件ある 4 点 町会・自治会を活性化させた実績が 3 件ある 3 点 町会・自治会を活性化させた実績が 2 件ある 2 点 町会・自治会を活性化させた実績が 1 件以下、若しくは実績がない 1 点	8	8	8	8	8	町会・自治会を活性化させた実績が 5 件ある 5 点 町会・自治会を活性化させた実績が 4 件ある 4 点 町会・自治会を活性化させた実績が 3 件ある 3 点 町会・自治会を活性化させた実績が 2 件ある 2 点 町会・自治会を活性化させた実績が 1 件以下、若しくは実績がない 1 点
業務従事予定者及び組織体制 (25点)	業務従事予定者の町会・自治会支援業務や調査・分析業務等に関連する業務の経験や実績は豊富か	様式 5	15 (×3)	12	9	9	9	9	・責任者、主任及び一部担当 (3/10) には、町会等活動支援アドバイザー経験者はいるが、いずれも 2 9 年度 1 回のみで、専ら企業経営コンサルタントが専門であると思われる。(－) ・自治体というよりは企業分析、経営課題解決に向けた業務が多い。(－) ・地域活動支援アドバイザーの経験 (+) ・主として中小企業支援を主軸とした小規模団体 (事業所) に対する実務的支援経験 (+) ・港区及び他自治体における業務受託実績は十分と判断できる。(＋)	12	12	12	12	15	・責任者、主任及び担当とも町会等支援にかかわってきた経験があり、支援の専門性が高いスタッフを揃えているものと判断できる。(＋) ・地域 (自治体) の身近な課題に対応した経験がある。(＋) ・防災を切り口とした主任業務担当者の経験・実績 (調査・コンサルティング) は評価できる。(＋) ・港区及び他自治体における業務受託実績は十分と判断できる。(＋)
	必要な業務遂行が十分見込める体制になっているか		10 (×2)	6	6	4	6	6	・スタッフは 1 地区 2 名体制 (正副担当) を提案しているが、担当の力量に左右される。責任者と主任がどう調整するのの具体的な記載がないため、地区毎に平準的な支援が行えるのか、やや不安が残る。(－) ・業務担当者の数は多いが、体制としては普通である。(±) ・業務担当者の指定数が多いが、記載は 10 名中 5 名のみと不確実 (－)	6	8	8	6	6	・責任者を除く担当 5 名とアシスタント 1 名の 6 名体制だが、担当は経験者を充てるので、体制は必要十分であると判断する。(＋) ・業務担当者は少ないが専属的対応が想定できる。(＋) ・総括及び主任 2 名と、プロジェクトの推進体制が相対的に手厚い。(＋)
企画提案書 (50点)	町会・自治会の分析手法は効果的な手法であるか	様式 6-1	10 (×2)	6	6	8	8	10	・事前にヒアリングを実施したうえで、外部環境分析と内部要因分析の両面から分析し、効果的な提案を行うこととしている。分析手法は、多方面から効果的な分析が期待できる。(＋) ・分析手法について様々なアプローチ方法を持っている。(＋) ・ツールを複数備えるのは評価するが、PEST 分析や地域経済分析システムの町会自治会活動への適用可能性や、SWOT・ギャップ分析等、分析結果の総括プロセスが未知数。(－) ・外部環境と内部要因に分けて具体的な分析について言及しているが、やや様々な分析手法の用語解説のきらいがある。(±)	4	8	6	8	6	・アンケート調査に向けて、協働推進課職員及び町会等のキーパーソンの意見を聴き、実施することは評価できる。想定される質問項目も具体的提案である。(＋) ・分析手法としては一般的である。(±) ・GHでのキーパーソン 1 名抽出など若干の困難性は感じられるものの、手順・骨子は明確に示されている。(＋) ・グループヒアリングとアンケートの記載のみで、分析方法について言及がない (－)
	町会・自治会が自主的・自立的な運営を行うためどのような支援が必要なのか、現段階での取組の考え方と方向性は妥当であるか	様式 6-2	10 (×2)	8	4	6	6	10	・区の町会等支援制度の再構築にも貢献したいとの提案は評価できるが、取組の考え方、方向性の提案は標準的で、特筆すべき内容ではない。(±) ・課題対応について新たなアプローチを生み出す可能性がある。(＋) ・「役割・位置づけの仕組みづくり」や「支援の成果がメリットとして理解されるような支援」など、茫洋とした提案。(－) ・次年度以降の運営に向けた人材育成についても言及 (+)	4	6	8	6	10	・役員の担い手不足など現状把握は適切であるが、加入促進の視点での提案はない。(±) ・町会・自治会の深刻な課題に対して取り組む姿勢が表れている。(＋) ・「新たな担い手への訴求」や「優先順位づけ」等、一般的ではあるが、現実的な提案である。(＋) ・自主的・自立的な運営のための支援」という視点からはピントがずれている (－)
	町会・自治会の課題の洗出しや実情把握を行うための町会・自治会へのヒアリング手法は、効果的な手法であるか	様式 6-3	10 (×2)	8	6	8	6	8	・ヒアリングは、役員及び会員のみならず、町会等のイベント来場者にも実施することは、評価できる。ただし、調査の時間や調査結果が効果的な内容になるかについては、やや疑問が残る。(±) ・分析手法に基づいたヒアリング方法である。(＋) ・イベント開催時のヒアリングなど、小回りを利かした調査手法も提案している一方、ヒアリングの体系的な手順が読み込めない。(－) ・対象者を分けたヒアリングと具体的な手法にまで言及。サンプル数への言及があればなお良かった。(＋)	4	6	8	8	10	・ 2 回のヒアリングにより現状把握と課題整理をして、支援の方向性を定める手法は実践的・効果的である (＋) ・丁寧なヒアリングを行い、課題抽出の掘り起しの意図がある。(＋) ・ヒアリングを段階分けてプログラムに結びつけるプロセスについては手堅く提案している。(＋) 一方、サンプル元となる規模や対象者の範囲が小さい点は実状把握するうえで疑問が残る。(－) ・固定したメンバーに対するグループヒアリングのみ (－)
	町会・自治会へ支援策を提案する際の連携体制が整っており、応援個別プログラムの今後の発展を見据えているか	様式 6-4	10 (×2)	6	8	6	6	8	・支援体制は各地区 2 名ずつと十分であると思われるが、来年度以降の支援の発展性については具体的な提案はない。(±) ・連携体制のイメージは持っているが、体制作りはこれからである。(±) ・当提案者の強みである会員の活用は、細やかな継続的対応が期待できる。(＋) ・検討会の実施や支援体制は評価できる。「具体的な展開については」が曖昧 (±)	6	6	6	6	8	・平成 3 1 年度以降の支援の発展性の具体的な提案はないが、伴走型支援とフォローアップを行う旨は評価できる。(＋) ・連携体制のイメージは持っているが、体制作りはこれからである。(±) ・展開手順は合理的であり、具体的なプログラムも現実的な提案となっている一方、エリアマネジメントやNPO・社協等との窓口の一本化等観念的な提案に留まっているきらいがある。(±) ・エリアマネジメントの視点や展開のイメージは評価できる。一方で具体的なプログラムの例については効果的とは言えない。(±)
	用意する支援アドバイザーは、取得資格、実績等が豊富であるか、また、支援アドバイザーの派遣体制は事業を展開するにあたり、十分なものであるか	様式 6-5	10 (×2)	8	6	4	6	8	・スタッフは中小企業診断士が中心のため、事業所や商店会支援には精通しているが、町会等支援の専門性は少ないものと思われる。区が求める以上の成果は期待できない。(－) ・多方面の分野について専門性を持っている。(＋) ・町会・自治会支援・地域支援の経験がある中小企業診断士を抱え都事業の実績もあり、数の力は評価できる一方、個々の能力は未知数。(±) ・専門は経営コンサルタント活動が主だが、だからこそこれまでとは違う視点からのアドバイスも期待できる。(＋)	8	8	8	8	10	・アドバイザー派遣についても、実務経験者を含めた専門スタッフの派遣が可能である。(＋) ・各分野について実名まで挙げての提案がされている。(＋) ・アドバイザー選定プロセス、候補者とも明確・具体的であり、現実的な提案となっている。(＋) ・各分野において特定の人物をあげて専門分野と実績を列記していることは評価できる。(＋)
見積価格 (10点)	提案内容全体を勘案して経費の見積りは妥当か	様式 7	10 (×2)	10	10	10	10	10	4,201~4,800千円 5点 3,701~4,200千円 4点 3,201~3,700千円 3点 3,201~3,700千円 2点 3,200千円以下 1点 4,801千円以上 1点	10	10	10	10	10	4,201~4,800千円 5点 3,701~4,200千円 4点 3,201~3,700千円 3点 3,201~3,700千円 2点 3,200千円以下 1点 4,801千円以上 1点
ワーク・ライフ・バランス推進 (5点)	ワーク・ライフ・バランス推進企業としての認定を受けているか	-	5	0	0	0	0	0	認定通知等写しの提出により、事務局が加算	0	0	0	0	0	認定通知等写しの提出により、事務局が加算
各審査委員計			100	66	57	57	59	71		62	72	74	72	83	
審査委員合計			500	310						363					
区内事業者優遇	区内事業者の場合、合計点の 5% を加算			16						19					
一次審査合計点				326						382					

町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事務候補者 採点集計表（第二次審査）

評価項目	評価の視点	配点	事業者 A					備考	事業者 B					備考
			各委員・事務局の採点						各委員・事務局の採点					
			委員 I	委員 II	委員 III	委員 IV	委員 V		委員 I	委員 II	委員 III	委員 IV	委員 V	
提案内容における創意工夫 (15点)	港区の地域性を反映し、当該業務の趣旨を踏まえた創意工夫がされているか	15 (× 3)	9	9	12	9	9	・港区の地域特性の把握についてはこれからである (±) ・中小企業、商店会振興の考え方が強い (-)	12	12	9	12	12	・一定程度地域性をつかんでいる (+) ・港区協働事業活動補助金の活用も考えている (+)
提案内容の実現性 (10点)	当該業務遂行の手法や工程計画に実現性はあるか	10 (× 2)	6	6	6	6	4	・長期的なスパンを持っているが、スケジュールイメージがつかめない (-) ・話題に対する解決イメージが足りない (-) ・担当者の年齢構成について、偏った対応が懸念される (-) ・計画の実現性はあるが、中小企業支援のスキームを町会・自治会支援にあてはめることができるのか疑問である (±)	8	8	8	8	8	・具体的氏名を入れ、体制が明確である (+) ・具体的な提案 (写真等) で示されている (+) ・プロセス、成果とも手堅いものを期待できる (+)
業務内容の理解度 (10点)	提案内容や質疑に対する対応は、当該業務の目的・内容を理解しているものか	10 (× 2)	8	6	6	8	4	・企業分析の域から抜け出せていない (-) ・明確な受け答えがいただけなかった (-) ・課題を踏まえ、現実的な着地点を想定している (+) ・目的や内容は理解しているが、質疑に対しての柔軟性に欠ける (±)	10	10	8	8	8	・目的及び内容がある程度つかんでいる (+) ・質疑も的を得て、適切に答えていた (+)
業務に係る知識・経験 (5点)	町会・自治会活動支援に関連する施策や、調査及び分析業務に係る知識・経験を有しているか	5 (× 1)	3	3	2	3	3	・高輪地区での実績を持っているが、経験が不足している印象である (-) ・商店会と同様に考えている点がある (-)	5	4	4	5	4	・これまでの経験に基づき、具体的手法の提案がされている (+) ・品川区、中野区等のノウハウがあり、調査・分析等のノウハウも豊富 (+) ・他区での経験という強みがあり、企画及び実行力に優れている (+)
取組意欲 (5点)	プレゼンテーション等から、当該業務に取り組む意欲が感じられるか	5 (× 1)	4	4	3	4	2	・明確なビジョンに基づいた意欲という面では物足りなさを感じる (-) ・プレゼンにおける熱意は感じた (+)	4	4	4	4	4	・これまでの経験から安定感があり、意欲もある (+)
業務遂行に対する姿勢 (5点)	質疑応答の中から担当者の専門性や区との協調性が感じられるか	5 (× 1)	3	3	2	4	2	・区との協調性は持っているが、担当者の専門性は不足している (-)	5	5	4	5	3	・専門性を持っている (+) ・事例を基に明確に説明が可能である (+)
各審査委員計		50	33	31	31	34	24		44	43	37	42	39	
二次審査合計点		250	153						205					

町会・自治会活動応援個別プログラム作成業務委託事務候補者 最終集計（第一次審査及び第二次審査）

評価項目	配点	事業者 A	事業者 B
一次審査合計点 (審査委員 5 名計)	500	326	382
二次審査合計点 (審査委員 5 名計)	250	153	205
合計点	750	479	587